

# 2023年度事業計画書

2023年6月10日

NPO法人 DK・できること

代表理事 岡本 朗子

## 1. 事業計画内容

昨年度は、最も大きな出来事として、ねこ店開設が挙げられる。人材に恵まれ、医療・福祉のみならず、教育の領域で活躍している人材がねこ店に入職し、成果を上げ始めているところである。古淵のおおきなかぶと連携しながら、より一層、地域での役割をしっかりと担うとともに、利用児童へのサポート、保護者様支援を充実させたい。また、開業4年目にあたる今年度の計画として、昨年度中に着手し始めた職場環境の整備を進め、より安定した運営を行える法人を目指す。古淵のおおきなかぶと、小田急相模原のおおきなかぶねこ店の2023年度の基本的な事業計画運営の計画を挙げる。さらに本店で昨年度取り組んだ中で継続・拡充させる活動に関し、2022年度の事業計画を以下に掲げる。

### 【本店の運営について】

- ・開業4年目となる今年度の本店の運営計画について述べる。

#### ア 児童福祉法に基づく児童発達支援事業について

- ・内容 児童発達支援を通じて、発達に障害のあるお子さんに対する健全な育成の支援とご家族への支援を実施する。
- ・日時 2023年4月～2024年3月 毎週水曜日～日曜日 9時～17時
- ・場所 相模原市南区古淵3丁目8番14号
- ・従業者人数 2023年4月～2024年3月 常勤換算4名（うち常勤2名以上）
- ・受益対象者 発達障害のある未就学児 ～0.79人/日
- ・本店児童発達支援 契約者数およびのべ利用者数予想推移

	2023年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降	年間
契約児童数	10	11	14	14	14	14	14	
のべ利用数	14	15	16	18	19	14	19	210

- ・収益見込み金額 295万円（うち、未収金 53万円）

- ・支出見込み金額 214万円

#### イ 児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業について

- ・内容 放課後等デイサービスを通じて、発達に障害のあるお子さんに対する健全な育成の支援とご家族への支援を実施する。
- ・日時 2023年4月～2024年3月 毎週水曜日～日曜日 9時～17時
- ・場所 相模原市南区古淵3丁目8番14号
- ・従業者人数 2023年4月～2024年3月 常勤換算4名（うち常勤2名以上）
- ・受益対象者 発達障害のある就学児 ～6.6人/日
- ・本店放課後等デイサービス 契約者数およびのべ利用者数予想推移

	2023年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降	年間
契約児童数	69	71	74	77	81	81	84	
のべ利用数	78	128	146	155	157	85	157	1,691

・収益見込み金額 1,728万円（うち、未収金 298万円）

・支出見込み金額 1,719万円

### 【ねこ店の運営について】

・ねこ店開業後、5月時点で21名の新規利用児童に対する療育指導を開始した。ところが、依然として35名の待機児童が存在する。今後、当初の目標である契約利用児童95名の指導開始に向け、10月までは児童発達支援事業に関しては月6名、放課後等デイサービス事業に関しては月9名の新規利用契約を締結し、サービスを継続しうる安定した運営に入ることが必要である。

#### ア 児童福祉法に基づく児童発達支援事業について

- ・内 容 児童発達支援を通じて、発達に障害のあるお子さんに対する健全な育成の支援とご家族への支援を実施する。
- ・日 時 2023年4月～2024年3月 毎週水曜日～日曜日 9時～17時
- ・場 所 相模原市南区南台5丁目15番地6号
- ・従業者人数 2023年4月～2024年3月 常勤換算職員3名（うち常勤2名以上）
- ・受益対象者 発達障害のある未就学児 ～2.39人/日
- ・ねこ店児童発達支援 契約者数およびのべ利用者数予想推移

	2023年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降	年間
契約児童数	23	23	26	29	32	35	38	
のべ利用数	25	52	58	64	64	70	76	789

・収益見込み金額 959万円（うち、未収金 186万円）

・支出見込み金額 849万円

#### イ 児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業について

- ・内 容 放課後等デイサービスを通じて、発達に障害のあるお子さんに対する健全な育成の支援とご家族への支援を実施する。
- ・日 時 2023年4月～2024年3月 毎週水曜日～日曜日 9時～17時
- ・場 所 相模原市南区南台5丁目15番地6号
- ・従業者人数 2023年4月～2024年3月 常勤換算職員3名（うち常勤2名以上）
- ・受益対象者 発達障害のある未就学児 ～4.1人/日
- ・ねこ店放課後等デイサービス 契約者数およびのべ利用者数予想推移

	2023年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月以降	年間
契約児童数	22	25	28	31	34	34	34	25
のべ利用数	25	93	99	105	93	35	93	1,008

・収益見込み金額 920万円（うち、未収金 170万円）

・支出見込み金額 1,084万円

## 2. 今年度の全般的支援目標及びその計画

以下の活動の①～⑥は、全ての活動は本店とねこ店が連携し、原則合同で企画・実施・情報交換をしながら運営を進めるものとする。

- ① **ボランティアの力を活かす** コロナ禍が一区切りを迎え、開業以来、さまざまな面で制限のあったイベントを、まず今年は定期利用の利用者様の来所の無い、月末の29日、30日、31日の中の土日に実施する。日程も、8月月末を除き、ボランティアの皆様が来所しやすく、やりがいのある活動の企画と実施に参画できる体制づくりを進める。今年度は7月30日に、利用者様（保護者様）のための講習会を開催し、同伴のお子さまを対象に、イベントを行う。その後、8月30日、31日（夏休み中なので、平日ではあるが、30日、31日も対象とする）、10月29日、2024年3月30日、31日に、数名の職員とボランティアが協働し、イベントの企画・実行を行う。
- ② **快適な職場の人間関係の実現** 昨年から実施しているメンタルヘルスチェックを含む公認心理士による面談とパワーハラスメントを防止するためのオンラインによる職員教育を継続実施する。加えて、ビジネス・マナー研修を実施し、利用者様への接遇のみならず、職員間のコミュニケーションを意識し、改善するきっかけを作り、快適な職場環境を実現させる。
- ③ **就学へのサポート** 例年行っている、就学へのサポートも3年目を迎える。来春に就学を控える利用児童を対象とし、発達検査を実施する。その結果を市の就学相談・就学移行支援窓口に提出する、という後押しを行う。また、学期毎にテーマを決め、就学支援を実施予定する。（例 1学期：発達アセスメントと持ち物管理 2学期：時間管理 3学期：登校支援）
- ④ **地域との連携強化** 7月の講習会は、同じ南区の児童発達支援事業所から講師を迎え、実施する。また、10月頃に、南区で1回、町田市で1回、講習会に講師として参加し、いずれも地域連携を強化しながら、保護者様支援を実施する。
- ⑤ **ねこ店の安定的運営** 昨春オープンしたねこ店は、1年を経過し、この4月～5月に大幅に利用者様を増やし、利用者様サービスの点からも、経営的にも安定期に入ろうとしている。毎年行っている利用者様向きの自己評価でも、本店に並んで非常に高い評価をいただいております。ねこ店の多様な職員のチームによる支援が利用者様にも受け入れられていると考えられる。このまま支援を継続することによって、安定的運営をめざす。
- ⑥ **保護者様支援** 昨年度、保護者様対象にアンケートを実施し、保護者支援に関するニーズを把握した。今年度は、そのニーズに応える年にしたい。7月に、初めての試みとして、ペアでの保護者様面談を実施する。これを皮切りに、さまざまな形での保護者様支援を展開したい。

## 3. 事業に伴う収支

別紙の活動計画書の通り

以上